

令和5年度

学校要覧

大地に根ざす



本校は昭和40年、全国で初めて職業学科を設置した高等部校として誕生しました。



北海道白樺高等養護学校

〒061-1264 北広島市輪厚621番地1

☎ 学 校(011)376-2353(代表)
376-2024(FAX)

寄宿舍 376-2433

<http://www.shirakabakoutouyogo.hokkaido-c.ed.jp>

校歌

作詞・手戸みち子
作曲・川添登世子
田中ふゆみ

一、光ゆたかにあびて立つ
わが学舎に集い寄る
友よ共に手をととりて
若き今日を上げもうよ

二、晴れたる空につらなれる
恵庭の峰のすがしき日
友よ共に仰ぎ見て
若き夢をかたろうよ

三、大地に根ざす白樺の
強き力を心とし
友よ共に声高く
若きよろこび歌おうよ



校歌のゆらい

創立当初、「手のひらを太陽に」を歌っていましたが、昭和44年、手戸みち子（作詞）、川添登世子・田中ふゆみ（作曲）の各職員によって校歌が作られ、5周年記念行事の際に披露されました。覚えやすいメロディーと力強い歌詞が生徒にも好評で、今もなお愛唱されています。



校章のゆらい

創立当時、生徒から「帽子に校章がないのが嫌だ」という声が挙がり、生徒から募集したところ「白樺の葉がいい」ということになり、職員と生徒が共同で白樺の葉を図案化して制定しました。



沿 革 の 概 要

昭和40年4月 札幌養護学校を仮校舎として入学式挙行、授業開始（第1学年生徒数 45名）

ㄥ 40年7月 札幌軍広島村字輪厚に校地決定

ㄥ 40年12月 校舎新築第1期工事完了 直ちに校舎移転

ㄥ 41年1月 校旗制定

ㄥ 41年11月 校舎新築第2期工事完了 職員数 26名

ㄥ 42年11月 校舎新築第3期工事完了 落成式挙行

ㄥ 43年3月 第1回卒業証書授与式挙行（卒業生 30名）

ㄥ 44年4月 開校5周年記念事業実施（校歌制定、教育計画作成、公開授業）

ㄥ 50年3月 校舎増改築第1期工事完了

ㄥ 50年12月 校舎増改築第2期工事完了

ㄥ 51年11月 開校10周年記念式典挙行

ㄥ 56年4月 学校名を「北海道白樺高等養護学校」と改称

ㄥ 56年9月 国際障害者年祈念事業（記念誌発行、記念植樹、視聴覚機器整備）

ㄥ 60年11月 開校20周年記念式典挙行

ㄥ 61年2月 北海道教育実践表彰受賞

平成元年3月 校舎改築第1期工事（管理棟・学習棟）完了

ㄥ 元年4月 第1学年生徒30名増募（第1学年 7学科 生徒数 85名）

ㄥ 元年12月 校舎改築第2期工事（実習棟）完了

ㄥ 2年3月 校舎改築第2期工事（寄宿舍棟）完了

ㄥ 2年4月 第1学年5学科制に移行（産業・木工・工業・家庭・クリーニング科）
学級数 16学級 生徒数 196名

ㄥ 2年10月 校舎改築第3期工事（体育館）完了

ㄥ 2年11月 校舎改築第3期工事（モデル高等部校舎、グラウンド）完了

ㄥ 3年4月 モデル高等部（生活園芸科・生活窯業科）開設
7学科 17学級 生徒数 204名

ㄥ 3年12月 プール新築工事、改築外構工事（テニスコート他）完了

ㄥ 4年4月 7学科 19学級 生徒数 186名

ㄥ 4年11月 校舎落成記念事業実施（式典及び関連事業）

平成5年4月 モデル高等部事業第3年次
7学科 21学級 生徒数 205名

ㄥ 5年9月 全日本特殊教育研究連盟全国大会（北海道大会）会場校

ㄥ 6年4月 7学科 21学級 生徒数 198名

ㄥ 7年4月 7学科 21学級 生徒数 195名

ㄥ 7年11月 開校30周年記念式典挙行

ㄥ 8年4月 7学科 21学級 生徒数 191名

ㄥ 9年4月 7学科 21学級 生徒数 189名

ㄥ 10年2月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞

ㄥ 10年4月 7学科 21学級 生徒数 182名

ㄥ 11年4月 7学科 21学級 生徒数 175名

ㄥ 12年4月 7学科 21学級 生徒数 171名

ㄥ 13年4月 7学科 21学級 生徒数 171名

ㄥ 13年10月 全日本特別支援教育研究連盟全国大会（北海道大会）主管・会場校

ㄥ 14年4月 7学科 21学級 生徒数 168名

ㄥ 14年10月 北海道知的障害養護学校教育研究協議会研究報告会主管・会場校

ㄥ 15年3月 柔剣道場新築工事完了

ㄥ 15年4月 7学科 21学級 生徒数 165名

ㄥ 16年4月 7学科 21学級 生徒数 173名

ㄥ 17年4月 7学科 21学級 生徒数 173名

ㄥ 18年4月 7学科 21学級 生徒数 171名

ㄥ 19年4月 7学科 21学級 生徒数 167名

ㄥ 20年4月 7学科 21学級 生徒数 164名

ㄥ 21年4月 7学科 21学級 生徒数 163名

ㄥ 22年4月 7学科 21学級 生徒数 159名

ㄥ 23年4月 7学科 21学級 生徒数 167名

ㄥ 23年7月 高等学校における発達障がい支援連携モデル事業・協力校

ㄥ 24年4月 7学科 21学級 生徒数 166名

ㄥ 25年4月 7学科 21学級 生徒数 164名

ㄥ 26年4月 7学科 21学級 生徒数 164名

ㄥ 27年4月 7学科 21学級 生徒数 167名

ㄥ 27年11月 開校50周年記念式典挙行

ㄥ 27年12月 開校50周年記念公開研究会

ㄥ 28年2月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞

ㄥ 28年4月 7学科 21学級 生徒数 167名

ㄥ 29年4月 7学科 21学級 生徒数 156名

ㄥ 30年4月 7学科 21学級 生徒数 155名

ㄥ 31年4月 7学科 20学級 生徒数 148名

令和2年4月 7学科 19学級 生徒数 145名

ㄥ 3年3月 園芸科閉科

ㄥ 3年4月 6学科 18学級 生徒数 141名

ㄥ 4年4月 6学科 18学級 生徒数 142名

ㄥ 5年4月 6学科 18学級 生徒数 140名

1 令和5年度 北海道白樺高等養護学校グランドデザイン



歴史と伝統の継承
・
SHINKA
(源化・進化・伸化・真価)

校訓
「自主 自主 自省」

学校教育目標
自己の能力を伸ばし、心豊かに、たくましく生きる人を育てる
～ 自主・自立・自省の姿勢を身に付け、
青年期の人格形成を図る ～

目指す学校の姿
生徒にとって 「自主的・主体的に学習し、生きる力を育む」学校
保護者にとって 「信頼し、子どもの自立・社会参加を託せる」学校
地域社会にとって 「地域に開かれ、説明責任を果たす」学校
教職員にとって 「専門性を発揮でき、やりがいのある」学校

目指す教職員の姿
生徒理解の基、自主性・主体性を尊重する教職員
生徒・保護者・同僚と傾聴と対話する教職員
専門性向上のため、学び続ける教職員

基本指導観
「率先垂範」
「共汗協働」
「師弟同行」
「凡事徹底」

重点課題
○個に応じた指導の明確化・具体化
○自立活動の充実
○3観点（学習内容・評価）
○特別の教科道徳教育の充実
○キャリア教育の充実
○課題意識・問題意識・改善意識

育成を目指す資質・能力
○学んだことを社会生活で生かせる力（知識及び技能）
○課題解決や自己選択、自己決定ができる力（思考力、判断力、表現力等）
○職業生活・家庭生活等で適応できる力（学びに向かう力、人間性等）

職業学科としての目標
定職 100%（卒後3年間）
希望の就労 100%（卒後3年めど）

何ができるようになるか（学校教育の基本）
○社会自立
・働き続けるための勤労意欲、態度等
・良好な関係を築くためのコミュニケーション力
○生活自立
・自立した生活のための知識、技能、習慣等
・生活を豊かにするための余暇活動

何が身に付いたか（学校評価を通じた学習指導の改善）
○個別的教育支援計画
○個別の指導計画（通知表）
○寄宿舎の生活
○移行支援計画
○学習評価
○年度末反省
○教育課程の評価
○学校評価（教職員、保護者、生徒アンケート）
○PTA、学校運営協議会

生徒の実態
○発達障がい診断 約70%
○自閉症・情緒学級出身 約60%
○通常学級出身 約6%
○一般就労 約55%、福祉的就労 約45%
○一般就労を希望する生徒が多い
○自己理解・受容ができていない生徒が多い
○コミュニケーションを課題にしている生徒が多い
○情緒の不安定さを課題にしている生徒が多い

目指す生徒の姿
○自ら質問や相談をし、課題を改善・解決できる生徒（確かな学力）
○自己を理解し、相手意識をもてる生徒（豊かな人間性）
○体力の向上と生活習慣を整えられる生徒（健康・体力）

何を学ぶか（教育課程の編成）
○「体力づくり」「進路学習」「作業学習」
○カリキュラム・マネジメント
教科等横断的視点（教科等合わせた指導、教科別指導、総合的な探究の時間等）
○自立活動の充実
○特別の教科道徳の充実
○学びの保障

生徒の発達をどのように支援するか
○個別的教育プラン
一人一人に応じた指導、教育的ニーズ
○キャリア教育
良さ・可能性を伸ばす指導・支援、「つながる」「つなげる」

どのように学ぶか（教育課程の実施）
○主体的・対話的で深い学び
○学びの地図
○3年間で三種の作業学習を経験
○年2回の職場実習（2学年）
○年1回4週間の現場実習（3学年）
○年2回の労働週間（全学年）
○寄宿舎生活（寄宿舎生）

SDGsの視点
2 フードロス（残食軽減）
3 食育指導
4 キャリア教育、学びの保障
5 LGBTQ+、敬称徹底
7 節電・節約
8 希望の職業・職種、就労継続
15 木材（間伐材）の活用
16 人権尊重、安心・安全

実施するために何が必要か（指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働）
○効率的・効果的な指導組織体制の構築並びに専門性の向上
○保護者・関係機関、進路先との情報共有及び信頼関係のさらなる構築
○北広島市及び西部地区、学校運営協議会等と一体となり、生徒の教育活動の充実・拡大

安心・安全な学校
○人権尊重
敬称徹底、体罰・いじめの防止、相手意識
○言語環境
挨拶、敬語、適切丁寧な会話
○個性尊重
実態把握、合意形成、合理的配慮、傾聴・対話、自主性・主体性
○情緒の安定
自立活動、SCの活用
○危機管理・環境整備
防犯・防災対策、健康安全指導、交通安全、情報管理、施設設備対策、整理・整頓・清潔（清掃）
○SDGsの視点
○適正な財政処理、金銭管理

連携・信頼のある学校
○保護者や関係機関との連携
共に成長を実感、説明責任、PTA活動の充実、専門機関・医療機関等と情報共有
○組織的な業務推進
「かくれんぼ」の徹底、学舎の連携、夢面意識・目的意識
○進路指導の充実
自己（他者）の理解・受容、自己選択・決定、継続、経験・体験の拡大
○生徒指導・生活指導
個に応じた指導、集団・個別指導、自己指導能力、予防的生徒指導、食育指導の推進、
○ICT教育
活用、充実、機器・環境整備
○教職員の規範意識
職務規律の遵守、適切な言動・服装

開かれた学校
○地学協働
CS（学校運営協議会）の充実、北広島市（BP、地元産木材利用）、西部地区（清掃活動、行事参加、製品販売会、受注等）、NEXCO 東日本（積厚PA販売会、清掃活動）
○特別支援教育のセンター的役割
専任 Co、PT 派遣事業
○情報発信
HP、各種たより、公開授業研究
○学校見学
○交流及び共同学習
北広島高校、西部小学校、西部中学校、文教大附属高校、とわの森三愛高校
○学生ボランティア
部活指導

働きがいのある学校
○北海道アクション・プラン
健康で豊かな生活、教育の質の向上、学校開庁日（学校が設定する日）、定時退勤日、時間外勤務の縮減、コアチームの設置
○専門性の向上
研修充実、新たな研修制度、授業・生活指導の評価・改善・構築（PDCA）
○学校運営への参画
教員育成指標、校内人事の活性化、人材育成、業務の効率化・伝達
○人事評価シート（学校設定項目）
自己の「〇〇意識」、白樺のセールスポイント

2 指導の重点

(1) 学習指導

各教科、総合的な探究の時間、作業学習の充実を図り、個別の教育プランを基に、働く喜びと意欲・社会自立に必要な資質や能力を育てる。

(2) 生徒指導

個別の教育プランを基に、きめ細やかな生徒理解に基づいた生徒指導を行い、主体的・自立的に生活する意欲を育てるとともに、望ましい人間関係の育成と余暇を活用する態度や習慣を育てる。

(3) 健康安全指導

学校保健安全計画を基に、学校行事や日常の学習活動のあらゆる場面で健康・安全に関する指導を行い、健康の維持、増進と安全な生活を送る態度や習慣を育てる。

(4) 健康安全指導

個別の教育プランを基に、生徒一人一人の個性や能力に応じるとともに、時代の変化に対応した進路選択ができるよう指導に努める。また、卒業後の進路を考え、その実現に向けて努力する態度や習慣を育てる。



美術（スケッチ）



体育（創作ダンス）



工業作業



職場実習

3 教育課程

(1) 年間授業日数

月 学 年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
1 年	14	20	22	19	7	20	21	20	16	9	19	15	202
2 年	15	20	22	19	7	20	21	20	16	9	19	15	203
3 年	15	20	22	19	7	20	21	20	16	9	19	7	195

(2) 年間授業時数(再掲)

学年・学科 指 導 形 態		全学科	全学科	全学科
		1	2	3
各教科等 を合わせた指導	日 常 生 活 の 指 導	240	230	210
	生 活 単 元 学 習	55	65	85
	作 業 学 習	280	300	320
	体 力 つ く り	120	110	95
	小 計	695	705	710
各教科等 の授業	国 語	40	32	0
	社 会	24	22	0
	数 学	40	32	0
	理 科	24	22	0
	音 楽	31	28	25
	美 術	28	24	0
	保 健 体 育	50	46	40
	職 業	0	0	0
	家 庭	28	24	0
	選択教科	家 庭 生 活	0	35
		造 形 美 術	0	
		情 報 処 理	0	
	小 計	265	230	100
	主として 専門学科 において 開設され る各教科	家 政	0	0
		農 業	0	0
		工 業	0	0
		流 通 サ ー ビ ス	0	0
		福 祉	0	0
	道 徳	0	0	0
	特 別 活 動	60	60	50
	自 立 活 動	0	0	0
	小 計	60	60	50
総合的な探究の時間		60	75	190
合 計		1080	1070	1050

(3) 日課及び週時程表

曜日		月			火			水			木			金					
校時	学年	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3			
登校 8:50 9:00		朝の HR			朝の HR			朝の HR			朝の HR			朝の HR					
9:15 9:20																			
1 校時		体力づくり			体力づくり			体力づくり			体力づくり			体力づくり					
10:00 10:15																			
2 校時		作	作	総合 音楽 3HR	理 科	数 学	作	数 学	国 語	総合	国 語	理 科	作	作	作	総合			
10:55 11:05	総合			国 語	保 健 体 育	美術 ／ 家 庭		作	作	保 健 体 育	選 択 教 科 ※	社 会 音楽 3HR 美術 保健 体育				業	業	選 択 教 科 ※	保 健 体 育
3 校時																			
11:45 11:50		業	業	音楽 3HR	総合	数 学	業	業	業	保 健 体 育	選 択 教 科 ※	社 会	業	業	業	選 択 教 科 ※	保 健 体 育		
4 校時				業	業	業		業	業	業	業	業				業	業	業	業
12:30 13:25		給 食 ・ 休 憩																	
5 校時		保 健 体 育	美術 ／ 家 庭	国 語	作	美術 ／ 家 庭	保 健 体 育	社 会 音楽 3HR	作	作	作	総合	総合的な探究の時間 (全校活動等)			LHR			
14:05 14:10		業	業	数 学	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業		
6 校時																		業	業
14:50 15:05		掃 除																	
15:05 15:20		帰りの HR			帰りの HR			帰りの HR			帰りの HR			帰りの HR					
下校 15:20 (16:50)		(部活動)			(部活動)			(部活動)			(部活動)			(部活動)					

※「家庭生活」「造形美術」「情報処理」から選択

(4) 寄宿舎の日課表

時 程	曜 日	月	火	水	木	金	土	日			
6：30		起床（寝具整理・洗面・舎室の整理整頓）						自由時間			
7：00		舎室集合・舎室清掃・配膳									
7：30		朝食									
8：00		登校準備・登校									
8：40		学 校 の 生 活									
14：20											
15：20							自由時間	入浴・自由時間	自由時間	入浴・自由時間	自由時間
17：30							夕食				
18：00								舎室集合 配膳・夕食			
18：25		係活動						自由時間			
19：00		自由時間						自由時間			
20：00		分担区域清掃・舎室活動						舎室活動			
21：30		自由時間・洗面・消灯						自由時間・洗面・消灯			

(5) 主な年間行事予定

4月	始業式 入学式 身体測定 視力検査 新入生歓迎会 保護者懇談会（3年） 保護者懇談会（舎） 耳鼻科検診 歯科検診 心電図・胸部X線検査（1年） 職業相談（3年）
5月	屋外体力づくり開始 内科検診 眼科検診 保護者懇談会（1・2年） 見学旅行（3年） 避難訓練 前期職場実習（2年） 総合避難訓練
6月	労働週間 職業適性検査（3年） 職場見学（2年） スポーツ大会 棟レクリエーション（舎） 学校見学会 前期生徒総会 安全教室
7月	保護者懇談会（3年） 棟レクリエーション（舎） 芸術鑑賞会 生徒会交流 終業式
8月	始業式 生徒会役員選挙
9月	実習決意発表会（2・3年） 後期職場実習（2年） 現場実習（3年） 職場・福祉サービス事業所見学（1年） 実習報告会（2年） 労働週間（2年）
10月	労働週間（1・3年） 実習報告会（3年） 保護者懇談会 避難訓練（舎） 保護者職場・福祉サービス事業所見学① しらかば店 宿泊研修（2年）
11月	学校祭 生徒会交流 保護者職場・福祉サービス事業所見学② 棟レクリエーション（舎） 屋内体力づくり開始
12月	生活体験発表会 クリスマス会（舎） 終業式
1月	始業式 生徒会役員選挙
2月	校外スキー（2・3年） 保護者懇談会（2・3年） 卒業生を送る会・感謝する会 送別会（舎） 後期生徒総会
3月	卒業式 保護者懇談会（1年） 終業式

4 学科編制

(R5.5.1)

学科	学年 性別	1年			2年			3年			計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
生産技術科		5	3	8	5	2	7	7	1	8	17	6	23
木工科		8	0	8	6	0	6	5	3	8	19	3	22
工業科		7	1	8	8	0	8	6	2	8	21	3	24
家庭総合科		3	5	8	4	4	8	3	5	8	10	14	24
クリーニング科		3	5	8	3	5	8	7	0	7	13	10	23
窯業科		6	2	8	7	1	8	8	0	8	21	3	24
計		32	16	48	33	12	45	36	11	47	101	39	140

5 生徒の実態

(1) 年齢別生徒の実態

(R5.5.1)

年 齢		15	16	17	18～	計
男	1年	30	2	0	0	32
	2年	0	29	4	0	33
	3年	0	0	32	4	36
女	1年	15	1	0	0	16
	2年	0	8	4	0	12
	3年	0	0	11	0	11
計		45	40	51	4	140

(2) 通学形態別生徒数

(R5.5.1)

学年	区分 性別	寄宿舎通学			自宅通学			計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年		15	11	26	17	5	22	32	16	48
2年		23	6	29	10	6	16	33	12	45
3年		23	5	28	13	6	19	36	11	47
計		61	22	83	40	17	57	101	39	140

(3) 振興局別生徒数

(R5.5.1)

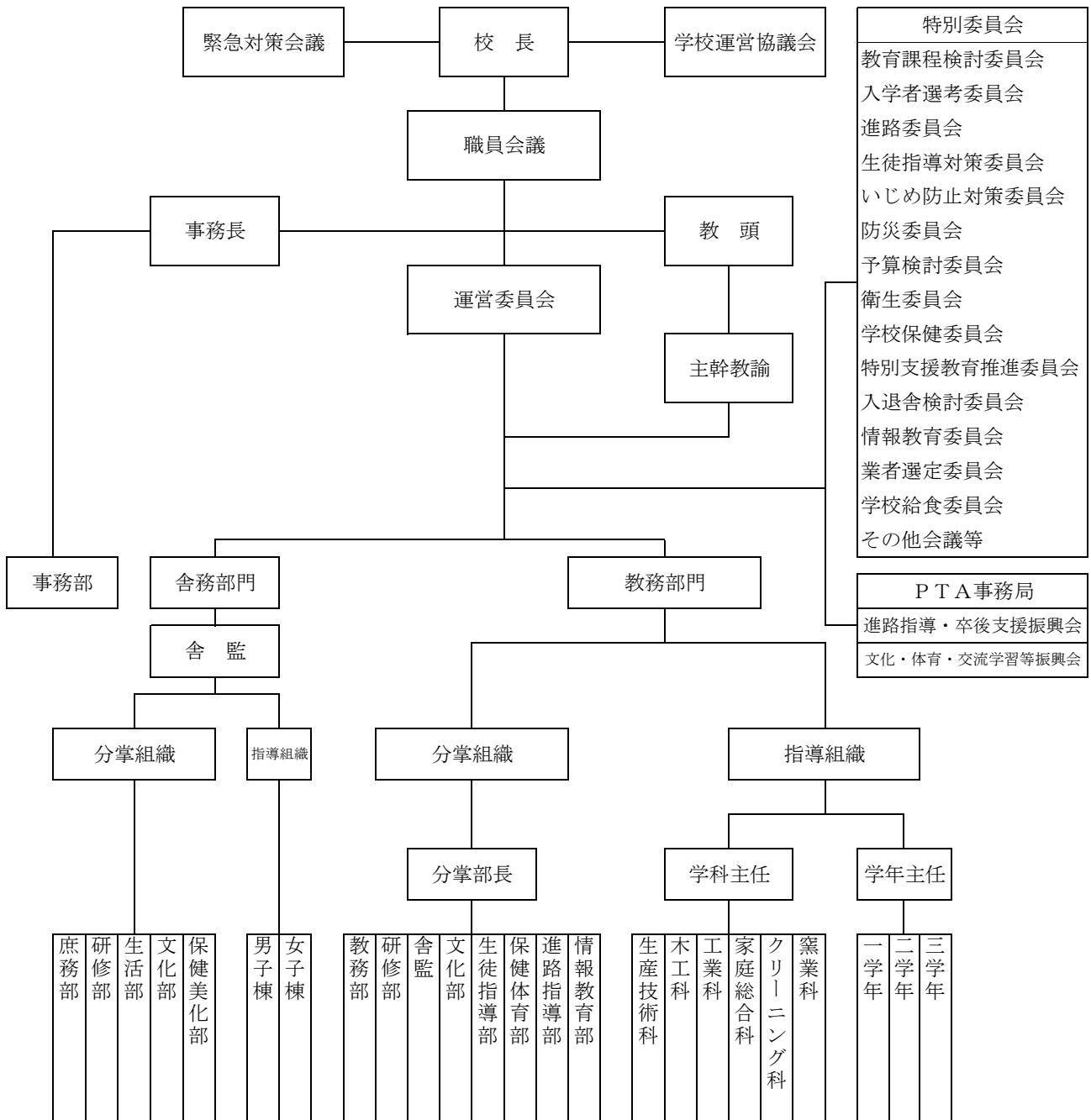
振 興 局	市 町 村	学 年			計
		1 年	2 年	3 年	
石 狩	札 幌 市	16	18	22	56
	江 別 市	0	2	1	3
	恵 庭 市	6	3	6	15
	千 歳 市	4	8	3	15
	北 広 島 市	9	4	6	19
	石 狩 市	0	1	0	1
空 知	岩 見 沢 市	0	0	1	1
胆 振	苫 小 牧 市	5	4	6	15
	室 蘭 市	0	0	1	1
	安 平 町	0	1	1	2
	む か わ 町	1	0	0	1
	厚 真 町	1	0	0	1
日 高	新 ひ だ か 町	1	0	0	1
	様 似 町	1	0	0	1
	え り も 町	1	0	0	1
	日 高 町	2	0	0	2
	平 取 町	0	1	0	1
	浦 河 町	0	2	0	2
	新 冠 町	1	1	0	2
合 計		48	45	47	140

6 卒業生の進路状況

卒業時点

進路先 卒業年度	一 般 就 労																			福祉的就労							そ の 他	計			
	農 牧 業 及 び 関 連 サ ー ビ ス 業	建 築 ・ 塗 装 業	製 造 業										サービス業									公 務 員 （ 公 的 機 関 ）	家 業 従 事	入 所 施 設	通所						
			鉄 工 ・ 金 属 製 品 製 造 業	木 工 業 （ 製 材 ・ 木 製 品 家 具 ）	紙 工 業	コ ン ク リ ー ト 業	せん 維 ・ 衣 類 製 造 業	皮 革 ・ ゴ ム ・ 化 学 製 品 製 造 業	製 菓 ・ 製 パン 業	食 品 製 造 ・ 加 工 業	そ の 他 の 製 造 業	運 輸 業	卸 売 ・ 小 売 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	ク リ ー ニ ン グ 業	医 療 ・ 福 祉	自 動 車 関 連 サ ー ビ ス 業	リ サ イ ク ル 業	そ の 他 の サ ー ビ ス 業	地 域 活 動 支 援	日 中 一 時 支 援				介 護 給 付	訓 練 等 給 付			授 産 施 設		
昭和42年～50年	2	8	10	54	18	9	10	2	56	23	8				48		7		15	3	11	26					14	36	360		
昭和51年～63年	9	10	10	145	21	10	15	12	74	117	3		1	8	157		9		26		8	18					28	25	706		
平成元年～10年	3	10	8	85	8	1	1	5	68	98	3		6	3	87	1	13	3	17		3	65					129	25	642		
平成11年～20年	4	6	7	5	2			3	9	47	1	19	79	17	27	9	3	9	19			39	1	2	7	22	168	52	557		
21			1		1				1	3	2	1	6	1		1		2	1	2		3		1	2	20	6	3	57		
22		1	1						3	4			5	2	1	1			1	2					1	23	1	2	48		
23										8	1	2	8	1	1					1					3	28		1	54		
24			1						1	2		7	9	1		2			1						1	25		5	55		
25									4	4		1	5	1		3			2							33		1	54		
26									1	2	1	3	6						2						2	33		3	53		
27			1		2				1	1		8	7			1	1		2						2	26		2	54		
28		2	2	1					4	2		8	7	3		1			2							19		2	53		
29									3	1	1	5	6	2	2		1		2							24		7	54		
30			1	1				1	4	1		6	6		1	5			2							22		1	51		
31									1	4		9	5	1	1	1			2		1					19		2	46		
2			1		1				1	2	1	5	10	2	1	1										21		5	51		
3									2	1	3	4	11			3			2							18		2	46		
4									2	3	2	5	6				1									22		5	46		
合計	21	42	37	292	50	20	26	23	235	323	26	83	183	42	326	29	35	14	96	8	23	151	1	3	18	355	346	179	2,987		

7 運営組織機構



8 職員

(1) 職員構成

(令和5年5月1日現在)

校長	教頭	事務長	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	指導実習助手 指導実習助手 実習担任教諭	専門 寄宿舎指導員 寄宿舎指導員	主任主事 事務主任	介護員	小計	非常勤職員 学校医 学校医・産業医	学校薬剤師 学校歯科医	学校薬剤師 学校歯科医	合計
1	1	1	1	57	2	1	12	18	4	2	100	3	1	1	106

(注) 育児休業者及び会計年度職員を除く

(2) 職員一覧

職名等	氏 名	分 掌 等
校 長	山 本 貴 路	
教 頭	山 田 静	
主幹教諭	高 橋 淳	教務
一 学 年	教諭 尾 崎 副 美	生産技術科 担任 生徒指導
	教諭 前 田 信 幸	生産技術科 副担任 舎監
	教諭 赤 澤 有 輝	木工科 担任 研修
	教諭 小 嶋 早 恵	木工科 副担任 教務
	教諭 三田村 祐 二	工業科 担任 情報教育
	教諭 川 本 展 子	工業科 副担任 文化
	教諭 林 優 里	家庭総合科 担任 生徒指導
	教諭 戸 佐 仁 志	家庭総合科 副担任 情報教育
	教諭 古 東 崇	クリーニング科 担任 文化
	教諭 山 本 夏奈子	クリーニング科 副担任 研修
	教諭 坪 内 優 希	窯業科 担任 研修
	教諭 成 田 光 應	窯業科 副担任 文化
	教諭 三 浦 慎 一	学年付 教務 Co.
	教諭 平 間 俊 二	学年付 教務 Co.
	教諭 瓜 生 裕 晃	学年付 舎監 Co.
	教諭 河 上 幸 久	学年付 進路指導
	教諭 小 路 哲	学年付 進路指導
	教諭 濱 谷 良 介	学年付 教務
	実習担任教諭 石 岡 潤	学年付 保健体育
	指導実習助手 小 阪 悠佳子	学年付 保健体育
二 学 年	介護員 今 村 邦 夫	学年付 教務
	教諭 阿 部 勝 実	生産技術科 担任 保健体育
	教諭 安 達 知 子	生産技術科 副担任 研修
	教諭 對 馬 康 祐	木工科 担任 生徒指導
	教諭 江 畑 佳代子	木工科 副担任 保健体育
	教諭 麻 口 岳 詞	工業科 担任 生徒指導
	教諭 茂 垣 之 弘	工業科 副担任 研修
	教諭 福 井 美 穂	家庭総合科 担任 教務
	教諭 溝 畑 有 芽	家庭総合科 副担任 舎監
	教諭 高 田 啓 太	クリーニング科 担任 生徒指導
	教諭 清 水 沙 織	クリーニング科 副担任 教務
	教諭 今 井 かおり	窯業科 担任 保健体育
	教諭 堀 江 充	窯業科 副担任 情報教育
	教諭 岩 瀬 由 妃	学年付 教務 Co.
	教諭 中 村 佳 史	学年付 生徒指導 Co.
	教諭 金 石 正 之	学年付 進路指導
	教諭 西 村 明 美	学年付 進路指導
	教諭 猪 狩 由 佳	学年付 進路指導
	教諭 福 間 将 史	学年付 進路指導
	教諭 林 康 雄	学年付 教務
二 学 年	教諭 相 原 江利子	学年付 研修
	指導実習助手 小 松 広 幸	学年付 生徒指導
	実習助手 松 野 毅 文	学年付 文化
	実習担任教諭 立 屋 まゆみ	学年付 文化
	実習担任教諭 高 本 宏	学年付 情報教育
	実習担任教諭 沼 倉 弘 明	学年付 生徒指導
二 学 年	介護員 越 湖 達 志	学年付 文化

事務職員

職名等	氏 名
事務長	大 平 貢 弘
事務主任	津 野 雅 巳
専門主任主事	岩 崎 和 広
	梶 内 照 美
	堀 内 守

職名等	氏 名	分 掌 等
三 学 年	教諭 奈 良 麻里子	生産技術科 担任 文化
	教諭 上 出 晋 嗣	生産技術科 副担任 生徒指導
	教諭 近 藤 洋 帆	木工科 担任 文化
	教諭 坪 内 駿	木工科 副担任 舎監
	教諭 澤 田 圭 佑	工業科 担任 情報教育
	教諭 鈴 木 千 尋	工業科 副担任 文化
	教諭 松 原 真 季	家庭総合科 担任 保健体育
	教諭 宮 澤 裕 幸	家庭総合科 副担任 情報教育
	教諭 大 釜 大 樹	クリーニング科 担任 情報教育
	教諭 岩 橋 真 紀	クリーニング科 副担任 研修
	教諭 林 弘 平	窯業科 担任 情報教育
	教諭 山 崎 英 哉	窯業科 副担任 保健体育
	教諭 仲 島 朋	学年付 教務 Co.
	教諭 齋 藤 剛	学年付 進路指導
	教諭 西 村 明 美	学年付 進路指導
	教諭 林 恵 香	学年付 進路指導
	教諭 吉 田 栄 治	学年付 研修
	教諭 樋 口 英 男	学年付 文化
	教諭 小 玉 恵 理	学年付 生徒指導
	実習助手 田 中 浩 明	学年付 研修
三 学 年	実習担任教諭 佐々木 元 治	学年付 情報教育
	実習助手 小 蕎 直 愛	学年付 生徒指導
	指導実習助手 鈴 木 静 香	学年付 保健体育
	実習助手 神 田 すみれ	学年付 教務
	養護教諭 藪 内 直 子	保健体育 Co.
	山 形 朋 子	保健体育
三 学 年	米養教諭 伊 藤 祐喜子	保健体育

寄宿舎職員

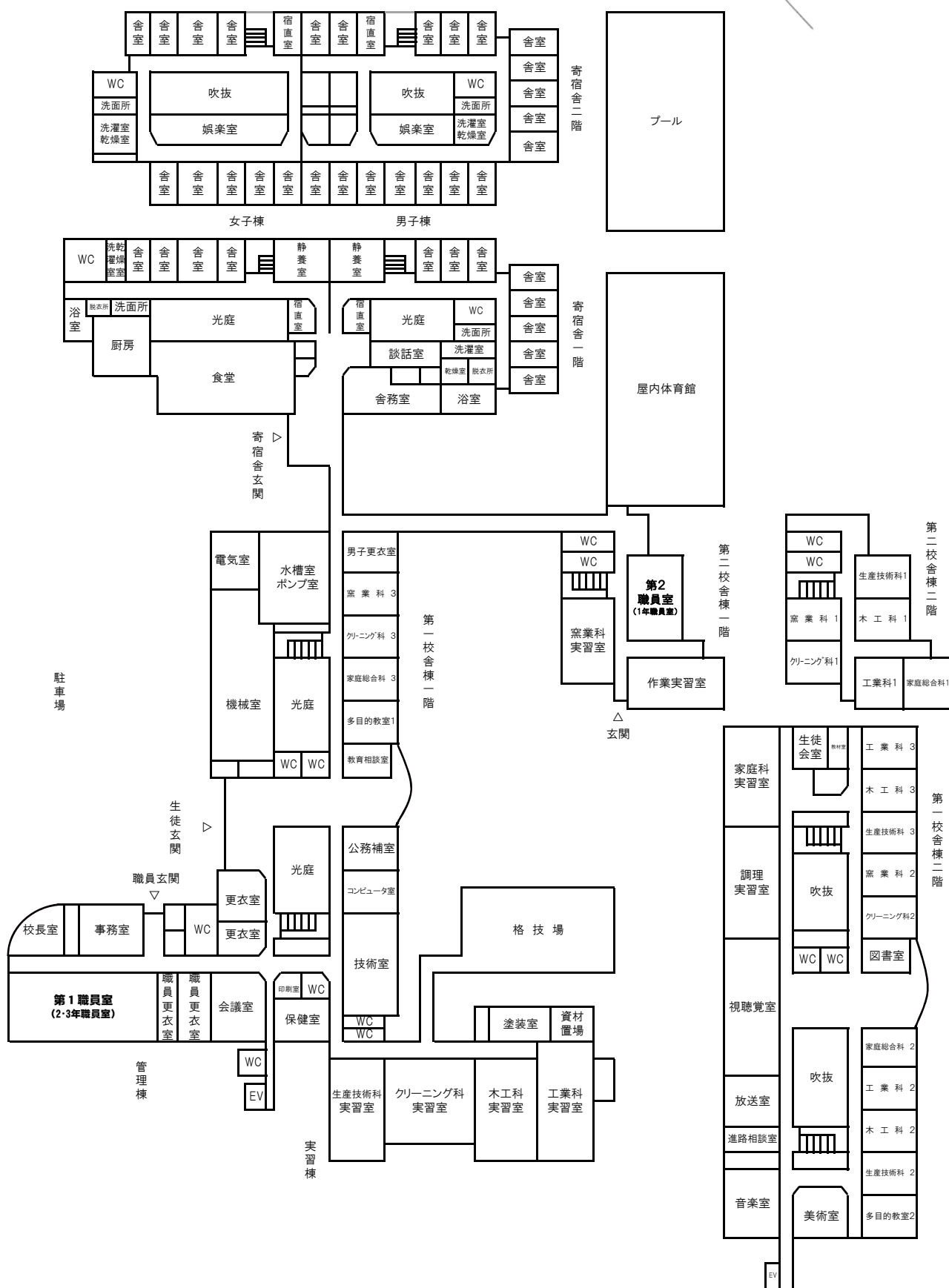
職 名 等	氏 名	分 掌 等
男 子 棟	専門寄宿舎指導員 荒 木 恵 一	1号室 生活
	専門寄宿舎指導員 杉ノ原 哲	2・3号室 保健美化
	専門寄宿舎指導員 友 田 悟	4号室 研修
	専門寄宿舎指導員 伊 藤 久 代	5・6号室 庶務
	専門寄宿舎指導員 二階堂 恭 代	7号室 文化
	専門寄宿舎指導員 江 田 潤	8・9号室 保健美化
	専門寄宿舎指導員 伊 藤 充 雄	10号室 文化
	専門寄宿舎指導員 中 村 倫 子	11・12号室 研修
	寄宿舎指導員 田 村 昌 平	13号室 生活
	専門寄宿舎指導員 佐 藤 雅 俊	14号室 文化
	専門寄宿舎指導員 笠 井 浩 樹	15号室 庶務
	専門寄宿舎指導員 小 熊 毅	16・17号室 庶務
	寄宿舎指導員 宮 岸 里 子	18号室 保健美化
女 子 棟	専門寄宿舎指導員 長 内 恵	1号室 研修
	専門寄宿舎指導員 松 山 望千子	2号室 庶務
	専門寄宿舎指導員 中 村 暁 子	3・4号室 文化
	専門寄宿舎指導員 伊 藤 享 好	5号室 生活
女 子 棟	寄宿舎指導員 大 場 奈穂美	6号室 保健美化

非常勤職員

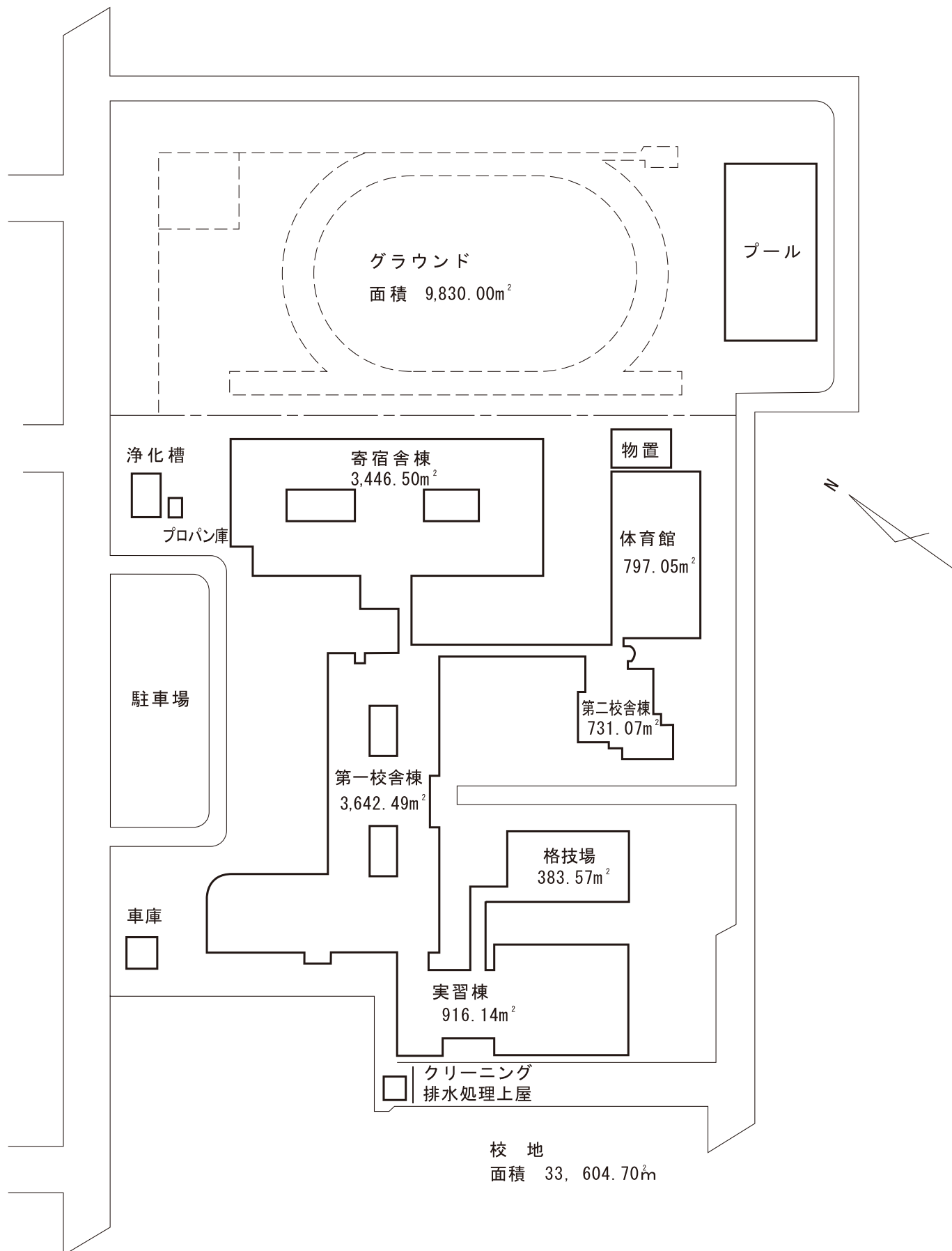
職名等	氏 名	
学校医・産業医	對 馬 伸 泰	内科
学 校 医	齋 藤 航	眼科
	穴 澤 龍 治	精神科
	秦 正 人	耳鼻科
学校歯科医	加々見 寛 行	
学校薬剤師	浅 野 尚	

※Co. は特別支援教育コーディネーターの略

g9 校舎平面図



校地・校舎・寄宿舍 配置図



白樺高等養護学校の特別支援教育

■特別支援教育の推進■

学校、家庭、地域社会、関係諸機関との連携・協力を基盤とした「個別の教育プラン」を策定し、学校在学中から卒業後までの支援を継続していきます。

■地域のセンターとして■

地域における特別支援教育のセンターとしての役割を果たします。

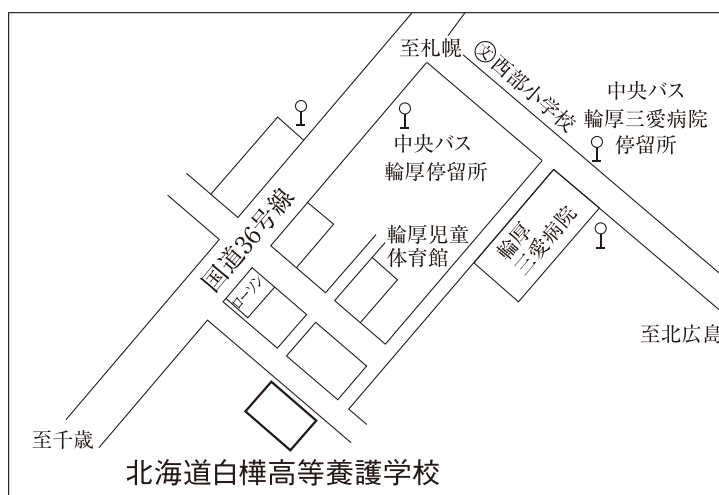
〔事業〕

- 教育相談の実施 ○公開研修会の案内と実施 ○資料・情報提供
- 研修図書、心理検査器具、教材の貸出し ○学校公開
- 中学校特別支援学級の体験学習 ○各種研修会への協力

■特別支援教育のネットワーク■

石狩管内の特別支援学校とともに、石狩教育局や近隣の市町村教育委員会や小・中学校、高等学校、関係諸機関と連携し、地域の特別支援教育を推進します。

学校の位置



- ・中央バスターミナル(札幌市大通り東1丁目)より
千歳行きで約50分
- ・地下鉄福住駅より中央バス千歳行きで約30分
*いずれも輪厚停留所下車徒歩6分
- ・JR北広島駅より
中央バス輪厚ゴルフ場経由福住行きに乗車 約20分
*輪厚三愛病院停留所下車 徒歩8分